

第18回 山口市中心市街地活性化協議会（報告）

1. 日 時 平成22年7月26日（月）19：15～21：00
2. 場 所 山口商工会議所5階コミュニティホール
3. 出席者 18名
4. 内 容

【報告事項】

○ 山口市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

平成21年度の商店街休日通行量については、平成20年度に比べて大幅に減少しているが、平成20年度は井筒屋オープンの影響が大きいいためその反動が出ている。その他の要因については、経済状況やETC休日割引等の影響があったものと考えている。小売業の年間販売額については、平成20年度は、97億9千400万円である。商業統計調査の織物、衣類、身の回り小売業、飲食料品小売業の2分類の合計値である。前回調査を行った平成18年度と比べて、99億3千200万円ですlightly減少しているが、これについては、主要事業である、アルビ跡地事業、米屋町の整備事業等が完了していないので、それら事業が進んでいくことで数値に表れるものと期待している。居住人口については、平成21年度、4,249人となっており、約70人増えている。要因としては、市営住宅や民間のマンションが増えているためである。基本計画の事業を継続して実施していくことで目標数値に少しでも近づけていきたい。

○ 中市商店街に係る事業の進捗状況

（仮称）やまぐちマーケットプラザの起工式を無事に終えることができた。建設業者からも工期が短く大変であると聞いているが、2月中の完成を目指している。皆様には工事に伴ってご迷惑をお掛けすることになるが協力いただきたい。梅田邸の事業に関しては、当初からアルビ跡地と一体的な計画で同時オープンを目指して進めてきたが、テナントリーシングで内部の議論がなかなか煮詰まっていない状態である。8月末が期限となるが、テナントの要望も含め厳しい交渉状況である。現在は、1店舗にすべて貸すような状況であるが、リスクを考えると複数店舗に貸したいという思いもある。いましばらくお待ちいただければと思う。

○ 米屋町商店街に係る事業の進捗状況

当初は、ナショナル会館が辞められるということで北側地区の開発を目指していたが、商売を続けておられるので、南地区からの開発を行うということで、シープネットワークにコンサルを務めていただき進めている。当初は任意の再開発を考えていたが、より有利な手法があるということで、法定再開発で進めている。今年度の9月には準

備組合を立ち上げ、事業計画、資金計画を進めていくこととなる。平成23年度には、地区の同意をもらい、都市計画決定を夏までに完了し、事業計画を決定させ、再開発組合を設立して、実施計画という運びになる。平成24年度には権利交換等の許可を得て、平成25年に着工、平成26年のオープンを目指している。

○ 道場門前商店街に関係する事業の進捗状況

どうもんパークの状況については、年間利用者数は、71万9千618人で目標値に対しては、97.4%達成。通行量は、5,316人で111%の達成。コープどうもん店前の通行量が増えており、どうもんパーク建設の効果が現われている。また、新たに2つの事業を進めており、東北エリアの選りすぐりの物産を販売する「美味日本！きたぐにさん」を8/1オープン（旧 au の店舗）。店舗名の題字については、NHK文化センターの講師・村上真実さんに書いていただいたもの。また、11月初旬に薬膳カフェを旧いさみや店舗にオープン予定である。(有)どうもんが事業主体。借上げ住宅については、来年の1月完成予定。

【協議事項】

1. (仮称) やまぐちマーケットプラザ施設整備に係る公共施設の活用について

事務局から別紙資料に基づき説明。意見を伺った。

- ・若い人にも意見を聞いた結果、1階の広場については、日常的には、オープンカフェのように、ドリンク、アイスクリームなどが飲食できるスペース、市場で買ったものが食べられるようなスペースが良いとのことであった。また、アートふる山口、スペインフィエスタ、日本のクリスマスは山口から、ちょうちんまつり等周辺イベントと連動して催しができればよいと思う。観光としての位置づけも考えられれば。また、隣にナックがあるので、それも連携して活用できれば良いのでは。2階のテラスについては、夏はビアガーデン、冬はおでんやうどん等があると良い。とにかく、1年中、何かで賑わっているような雰囲気を提供し、来街者を飽きさせない仕組みをつくる必要があるのでは。2階の公益施設については、貸ギャラリー、貸ホール、貸し会議室などが考えられるのでは。ギャラリーであれば、CS 赤れんがと連携して、イベントをやることもできるのでは。
- ・人が集える場所、市場で買い求めたものがその場で食べられる場所、おしゃべりが出来る場所、休憩場所が良い。2階の公益施設については、西京銀行の窓口、宅急便の窓口を設置して欲しい。2階のテラス部分については、飲食が出来る場所、ビアガーデン、月見会、屋上庭園などが良い。井筒屋の意見については、憩いのスペースにしたらどうか、日除け付のテーブルを設置したオープンテラス、こども向け遊具の設置、2階については、観光案内、行政サービス。山口国体のPRや物品の販売。スペインフィエスタのPRなど。夏場はアイスクリームなどの販売ができれば。

- ・生鮮食料品は最後に購入するので、当該施設駐車場に止めて、ちょっと衣服を見て、最後に市場に寄って食料品を買って帰るという利用の仕方のお客さんもいると思う。
- ・まちづくりセンターで、5～6年前に中市商店街の買い物客を対象にアンケート調査を行ったことがある。アルビ跡地にどんなものがあったらよいかという問いに、一番多かったのがトイレであった。2番目に多かったのが休憩ができるところ。老若男女いずれも多かった。こども連れで行った時に、少し遊ばせて飽きさせないようにすると、長時間買い物ができる。お金を生む場所も必要だが、他の場所に来街者がゆっくりくつろげる場所が提供できると魅力があると思う。アンケートで意見の多かった2つが出来ているので良いと思う。公益施設については、山口市は人口が少ない割に3つの大学があり、サークルや研究の発表の場を探しているという話を聞いたので、そうした活用の方法もあるのではと思う。

2. 中心市街地活性化セミナーの開催日について

事務局から別紙資料に基づき説明。9月17日（金）に山口商工会議所で実施することについて承認。

3. その他

- ・7月24日の日経新聞（P5）に日本経団連が未来都市構想というものを出している。日本の企業の技術力を結集した未来都市を作るということで、人口の20～30万程度の都市を想定して、今から市町村に参加を募るということになっている。日本の持っている技術力を結集して、最先端の技術を織り込んだ都市をつくるというものである。これに山口市として手を挙げることについて検討をされてみてはどうか。

以上